

高第180号
障第182号
令和3年4月16日

関係高齢者・障がい者入所施設 管理者 様

岐阜県健康福祉部長

新型コロナウイルス「第4波」拡大阻止に向けた予防的検査の積極的な実施について

新型コロナウイルス感染症については、大阪府や宮城県などに加え、東京都などでも「まん延防止等重点措置」が講じられるなど、全国各地で感染が急増しています。

本県でも、3月16日を境に感染者数が増加傾向にあるとともに、病床利用率の上昇や変異株の増加、若者の感染者増加などから、すでに「第4波に入った」といえる状況であり、何としても「第4波」拡大を阻止することが必要です。

県では、「新型コロナウイルス「第4波」拡大阻止対策」（令和3年4月8日岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部）を策定しており、福祉施設の予防的検査については、拡大阻止対策の重要な対策として取り組んでおります。

各施設におかれては、重症化リスクの高い利用者と、介護・支援で利用者と密接に関わる職員の方々を守り、また地域での感染拡大防止と医療提供体制の確保を図るため、下記にご留意の上、予防的検査について積極的な実施をお願いいたします。

記

1. 高齢者施設等に対する検査の徹底について

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部においては、高齢者は症状が重症化しやすく、医療提供体制への負荷の増大を防ぐ観点からも、感染防止や早期対応が一層重要である一方、高齢者施設等における集団感染が依然として発生しており、有識者からも、高齢者施設等に対する検査、とりわけ従事者に対する検査についての重要性が指摘されていることから、予防的検査の徹底が要請されています。

2 ワクチンとの関連について

ワクチンを接種した場合でも、新型コロナウイルスに感染する場合があります。感染した場合は、その感染を拡大させる可能性がありますので、感染拡大を防ぐためにも、予防的検査が必要と考えられます。

<厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」ホームページより>

Q. ワクチン接種後に新型コロナウイルスに感染することはありますか。

A. ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。また、ワクチンを接種して免疫がつくまでに1~2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではありません。

高齢者入所施設・障がい者入所施設の予防的検査 概要

○事業主体 岐阜県

○事業期間 令和3年4月～6月

○対象施設 (高齢者施設)

介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、
介護療養型医療施設、介護医療院、認知症対応型共同生活介護、
特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、
住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、養護老人ホーム、
軽費老人ホーム、生活支援ハウス

(障がい者施設)

障害者支援施設、共同生活援助、障害児入所施設

○対象者 利用者と接する職員等

※予防的検査は症状のない方が対象となります。症状のある方はすぐに
医療機関を受診してください。

○検査方法 唾液によるPCR検査又は抗原定性検査

○申込書提出先 施設所在地市町村高齢福祉・障害福祉担当課

※詳しくは、令和3年3月下旬に各市町村から送付した通知又は、岐阜県高齢福祉課のホームページ<<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/145951.html>>をご覧ください。

担当	岐阜県健康福祉部 福祉施設社会的検査チーム
連絡先	TEL : 058-272-1111 内線2235, 2376, 4825, 4826 FAX : 058-278-3569